



平成 23 年 5 月 12 日

各 位

G M B 株 式 会 社
代 表 取 締 役 会 長 松 岡 信 夫
(コード番号：7214 大証第二部)
問 合 せ 先 取 締 役 副 社 長 阪 口 有 一
(0 7 4 5 - 4 4 - 1 9 1 1)

新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2011 年度（平成 24 年 3 月期）から 2013 年度（平成 26 年 3 月期）までの中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新中期経営計画の概要

GMB グループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、新車部品と補修部品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。

本中期経営計画期間中、韓国メーカーをはじめとするグローバルな顧客・海外補修用市場で培ったブランド力・海外拠点・量産加工技術などの既存の事業基盤を活かして新市場・新規顧客・新製品の開拓を進めながら、将来の更なる成長へつなげる布石を打つことで、2013 年度に連結売上高 585 億円、営業利益 41 億円（7.0%）を目標として、世界の新車用・補修用部品市場において着実な事業の拡大を目指します。

2. 長期的なビジョン

GMB グループが長期的に目指すべき姿は、グローバルな総合部品メーカーおよびブランドとして、世界の主要な完成車メーカーすべてに直接・間接的に部品供給を実現し、補修用部品の主力製品であるウォーターポンプにおいて世界 No.1 となることなど、世界で確固たる事業基盤を確立し、10 年以内に連結売上高 1,000 億円体制を目指します。

3. 中期経営計画策定の背景と方向性

近年の自動車業界では、国内市場が縮小傾向にあるなかで、新興国を中心とした海外需要は依然として拡大しておりますが、リーマンショックや東日本大震災など急激な環境変化にも晒されており、グローバルかつ柔軟に対応できる生産・物流体制が求められております。さらに、環境対応製品の広がりも技術的な対応課題となっております。一方、補修用部品市場においては、自動車保有台数が世界的に増加傾向にあるなかで、引き続き厳しい価格競争が続いており、これまでの海外生産移管だけではコスト・供給面での対応が難しい状況となりつつあります。

このような環境変化に対応しつつ、事業を拡大していくための中期的な経営の方向性として、「既存基盤（規模・量産技術）を活かした成長と収益確保」と「今後の成長アイテムの開発と新たな加工技術の確立」を掲げております。

4. 経営目標達成のための基本戦略と重点施策

(1) 事業拡大戦略

	新車用部品	補修用部品
市場浸透	駆動・伝達系の新車用部品需要に対応した生産能力増強	既存製品における取扱レンジの強化
製品開発	軽量化・電氣化需要に対応した新素材・電動部品の開発	ブランド力を活かした取扱製品の拡大
市場開拓	日系・中国民族系・欧米系メーカーへの営業強化、非自動車分野の開拓	B R I C s 諸国をはじめとする未開拓・有望市場の補修用部品需要の捕捉

(2) 供給戦略

コスト	日韓生産移管と併行して海外生産拠点の効率的な活用 協力メーカーの継続的開発と関係強化による調達コスト削減
品質	品質レベルの最適化コントロールと協力メーカーを活用した階層化推進 品質業務のシステム化・専門化推進
拠点・投資	当面現状拠点での生産能力拡大を重視し、新規拠点は個別に検討 設備投資は新車用>補修用とし、補修用は最小限の投資で販売増加を目指す

(3) 技術・R & D戦略

- ・軽量化・電氣化需要に対応した新素材・電動部品の開発
- ・ベアリング関連の新製品開発
- ・冷間鍛造や熱処理など新工法・加工技術の研究

(4) その他

- ・グローバルに活躍できる人材の育成と人事制度改革
- ・C S R活動の推進
- ・グループ間で連携したI T化推進

5. 目標とする経営指標等

	2010年度 (実績)	2011年度 (計画)	2012年度 (目標)	2013年度 (目標)
売上高(億円)	439	486	530	585
営業利益(億円)	28	31	35	41
営業利益率(%)	6.5	6.4	6.6	7.0
設備投資(億円)	32	3年間で約120億円を計画		

想定為替レート 1USD=85円、1KRW=0.075円

以上